

「普代村地域創生研究会」ワークショップ

〈事務局用手引き〉

ワークショップの目的

このワークショップでは、全員参加型のグループワークによって普代村が抱える課題、問題点を考え、解決に向けた具体的な施策（行動計画）をまとめ、地方版総合戦略素案の作成を目指します。

単に具体的な施策（行動計画）を立てるだけでなく、共通の問題を話し合い、共に考えることで、若手職員の参加意識や意欲が高まり、それが地域の創生につながることを期待できます。

ワークショップの3つのねらい

- 人口減少の原因を探り、普代村の抱える課題、問題点を把握する。
- 地域創生を実現するための具体的な施策（行動計画）を立案する。
- グループワークで結束や仲間意識を強め、具体的な施策（行動計画）の実行力を高める。

ワークショップの計画・実施の留意点

- ワークショップの進行には、十分なディスカッションを行い、ワークショップの目的を達するために、時間配分は「2時間」とする。
- ワークショップの目的は何か、何をするのか、参加者に理解してもらった上で開始する。
 - ・開催を案内する際、目的を明確に示して参加を呼び掛ける。
 - ・参加者に知らせたい情報は、ボードや紙に書いて見えやすい場所に掲示する。
- 参加者の年齢や性別、肩書、経験などにかかわらず、全員が自由に考えや意見を発言できるように促し、可能な限り自由な討論を引き出す。また、活発なディスカッションができるように、リラックスした雰囲気づくりを工夫する。
- 事務局はワークショップの進行役、タイムキーパー、グループワークの促進役を務めます。
 - ・時間割通りに進行できるよう留意し、必要に応じて作業の残り時間（10分前、5分前など）をコールする。
 - ・各グループの進捗に目を配り、作業が滞っていたり、雰囲気が沈滞しているグループには助言をし、その進行を助けます。
 - ・手引きの手法にこだわらず、参加者数や状況に合わせて、より活発でスムーズに議論できる方法で行う。

準備

□日時と会場の選定

- ・全会員が出席できるような日時、会場を選定する。

□ワークショップの案内と出欠確認

- ・ワークショップの目的や意義、その内容が普代村の将来にとっていかに重要なものであるか、心のこもった表現で伝える。

□受講者リストの作成・グループ分けとグループリーダーの決定

- ・1グループの人数は5～6人程度とする。年齢・性別・職位・職歴などに偏りのないように配慮する。
- ・グループリーダーには、ワークショップの趣旨を理解し、人の話をよく聞いて、適切なリードができる人を選ぶ。
- ・事前にグループリーダーによる模擬ワークショップを行い、ワークショップの手法や進行を理解してもらう。

□掲示用資料の作成

- ・ワークショップの時間割、注意事項を大書する。

□受講者用の教材・道具の準備

□飲み物などの手配

- ・参加者の息抜き、気分転換のために用意する。

受講者用の教材・道具

□ワークシート1、2（各グループに1枚ずつ）

□サインペン、マーカー／中字（受講者各1本）

- ・できるだけ持参していただくようにする。当日忘れた人のために数本用意する。

□サインペン、マーカー／太字カラー（グループに各4～5本）

□短冊又はポストイット／10 cm×7.5 cm程度（受講者数×20～30枚程度）

□クリップ（短冊の分類・生理用）

□セロテープ

□模造紙／ワークシート1用（グループ数）

□模造紙／発表資料用（グループ数）

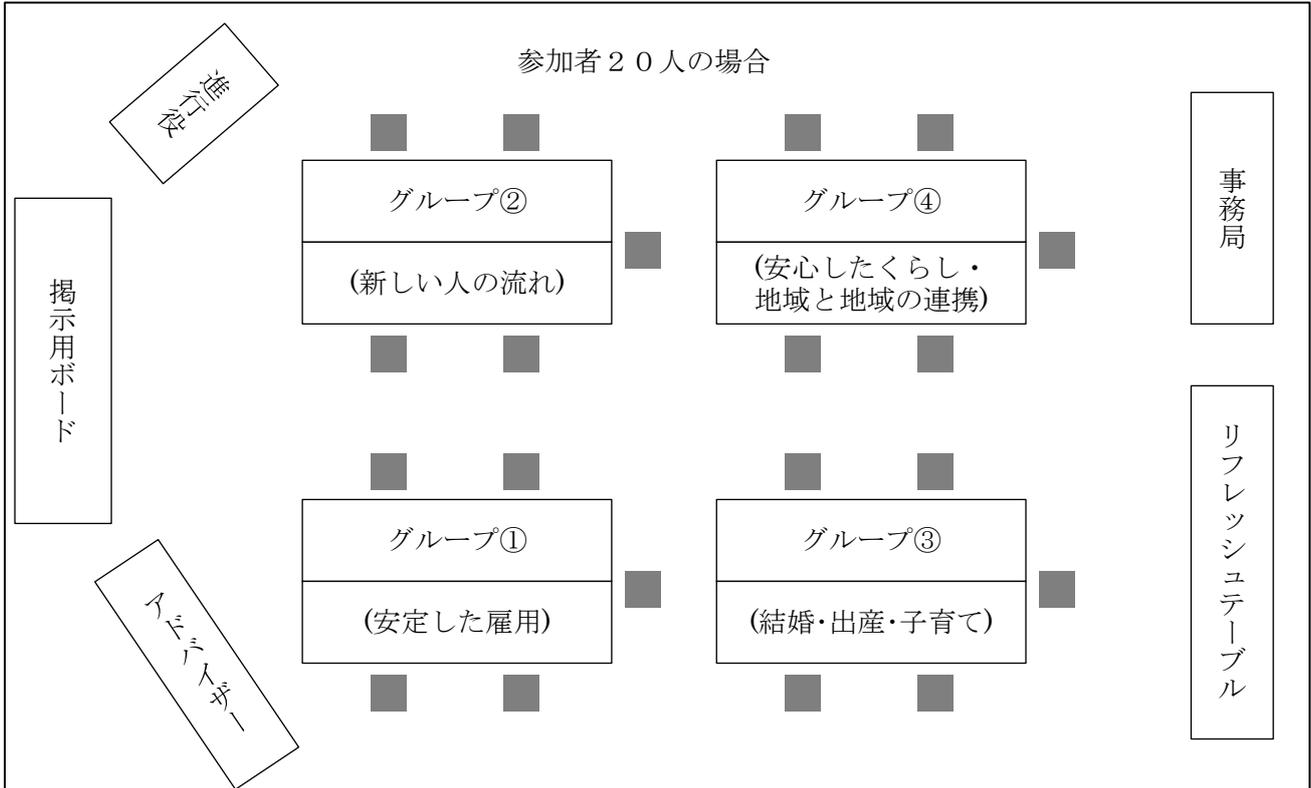
□掲出用ボード

□その他

会場の設営

- グループごとのテーブル、掲示用ボード（なければ壁を利用）を配置する。
- 掲示用ボードに時間割、注意事項を掲示する。
- 受講者用の教材・道具を各テーブルの上に並べる。
- 会議後方のリフレッシュテーブルにお茶、水などをセットする。

■会場設営の例



■掲出用資料の作成例

「普代村地域創生研究会」ワークショップ

- とき ○月○日 ○時～
ところ ○○会議室
- ××:×× 導入(5分)
 - ××:×× 講話(20分)
 - ××:×× グループワーク(85分)
 - 全体演習：普代村の未来を発想する(10分)
 - ステップ1：ブレイン・ストーミング(25分)
 - 「基本的方向を考える…発想」
 - ～休憩(5分)～
 - ステップ2：ディスカッション(25分)
 - 「アイデアを展開する…分析」
 - ステップ3：発表用資料の作成(25分)
 - ××:×× 発表(20分)
 - ××:×× 講評(5分)
 - ××:×× 事務連絡

ブレイン・ストーミングの注意点

- ・自由奔放
⇒奔放な発想を歓迎し、とっぴな意見でもかまわない
- ・批判厳禁
⇒どんな意見が出てきても批判しない
- ・質より量
⇒数で勝負、量の中から良いものが生まれる
- ・便乗発展
⇒出たアイデアを結合し、改善して、発展させる

ディスカッションの注意点

- ・人の話をよく聞き、否定しない
- ・演説はしない、意見発表は簡潔に
- ・議論は前向き、建設的に

■第1回研究会（ワークショップ）の進行

指示 グループ（参加者）に対する指示

説明 作業内容や注意事項などが必要な事項

流れ	時間	内容
開会	01分	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定刻となりましたので「第1回普代村地域創生研究会」を開催いたします。 ・それでは、開会に先立ちまして、普代村長 榎屋伸夫がごあいさつ申し上げます。
あいさつ	05分	<p><村長あいさつ></p> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村長は、ここで用務のため、中座させていただきます。 ・ありがとうございました。
会議説明	05分	<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それでは、まず、本研究会（ワーキンググループ）のねらいについて説明いたします。 ・1回目のワーキンググループでは、ワークショップ形式で、総合戦略の骨格案となる基本目標と、目標ごとの基本的方向を考えていただきます。 ・2回目からは、既存の施策のブラッシュアップを含め、新たな施策とその施策に対応した行動計画（アクションプラン）を立案していただきます。 ・本日用うワークショップで、総合戦略の骨格案となる部分を作成していただきますが、分野ごとの行動計画を立案するためのパブリックコメントや住民懇談会なども今後行う予定とし、全4回の研究会を進めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。 ・本研究会の最終目標となるゴールは、普代村が抱える課題・問題点を考え、解決に向けた具体的な施策と行動計画（アクションプラン）を作成し、地方版総合戦略素案を作成することであります。 ・また、本研究会は、共通の問題を話し合い、共に考えることで、若手職員の結束や総合戦略への参加意識、今後の施策実現に向けた意欲を高めることを期待しているものでもあります。 ・そして、本日のワーキンググループに、普代村地域づくりアドバイザーであります草野悟様をお招きし、地方創生についてのお話もいただき、また、終了後は、懇親会も予定しておりますので、これからの地域創生に係る研究活動や各担当分野での事務事業などに活用できる内容でありますので、懇親を深めていただければと思います。 ・ここで草野様のプロフィールをご紹介します。 ・草野様は、大手広告会社で東北支社長を歴任し、大型地域イベント、三陸海の博覧会、全国菓子大博覧会岩手大会、宮澤賢治生誕100年

		<p>事業をはじめ、イオン盛岡南ショッピングセンター「結いの市」のプロデュースなどを手がけ、平成 19 年 7 月に、三陸鉄道を勝手に応援する会を設立されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手の重要な資源である三陸鉄道を PR することで、過疎化が進む沿岸部の活性化につなげようと考え、沿岸の素晴らしい景観や海産物、そしてその料理やイベント、地域の人々を応援する活動をされております。 ・これまでの経験・実績を基に、幅広い観点からご指導、ご助言を賜りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。 ・それでは、短い時間で大変恐縮でございますが、よろしく願いいたします。
講話	20 分	<p><草野さんの講話></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございました。 ・草野様には、これから行いますワークショップでいろいろとヒントやアドバイスをいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
素案と研究会の役割	05 分	<p><事務局説明></p> <p>説明 ◎それでは、「普代村人口ビジョン」と「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」の骨格素案と研究会の役割について、簡単に説明いたします。最初に、「普代村人口ビジョン」骨格素案について説明いたします。(〇〇ページをご覧ください。)</p> <p>○まず、普代村の「I 人口の現状分析」の結果であります。人口動向については、1965 年(昭和 40 年)の 4,796 人をピークに減少に転じており、2014 年(平成 26 年)10 月 1 日現在の人口は、2,913 人となっております。また、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口は、1965 年(昭和 40 年)にピークを迎え、以降、減少に転じております。さらに、14 歳までの年少人口は、1,960 年(昭和 35 年)をピークに減少に転じ、1995 年(平成 7 年)を境に、年少人口を 65 歳以上の老年人口が上回る状況が続いております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生及び死亡による、自然増減については、1997 年(平成 9 年)以降は死亡数が出生数を上回る自然減が続いております。平成 24 年から平成 26 年の直近 3 年間の出生数の平均は 15 人、死亡数の平均は 45 人で、約 30 人の自然減少となっている状況です。 ・転入及び転出による、社会増減については、1993 年(平成 5 年)を除き社会減となっており、直近 3 年間の転入数の平均は 69 人、転出数の平均は 78 人で、約 9 人の社会減少となっている状況です。 ・村の 2008-2012 年合計特殊出生率は 1.54 で、2010 年(平成 22 年)における全国平均 1.43 及び岩手県平均 1.46 を上回るものの、1997 年(平成 9 年)以降は自然増減がマイナスに転じ、総人口も減少が続いている状況となっております。

- ・次に、将来人口推計の分析結果であります。国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によりますと、2010年（平成22年）の総人口3,088人が、2040年（平成52年）には、1,762人マイナス42.9%、2060年（平成72年）には、1,050人マイナス66%、減少すると予測されています。
 - ・2060年（平成72年）の総人口1,050人の年齢構成は、年少人口81人（構成比7.7%）、生産年齢人口451人（構成比42.9%）、老年人口518人（構成比49.3%）と予測されており、2010年（平成22年）の生産年齢人口1,759人（構成比57.9%）と比較するとマイナス1,308人と大幅な減少が見込まれ、村内地域経済の縮小、村税等収入の減少による村民生活に必要なサービス維持が困難となること懸念される状況にあります。
- 次に、人口の将来展望についてであります。将来展望については、今後、普代村総合発展計画（後期計画）の策定に係るアンケート調査と併せ、結婚・出産、子育て・移住等に関する意識・希望等の調査結果、また、本研究会での各分野のワーキンググループ毎に関係者を交えての意見交換会結果をもとに、目指すべき将来の方向、施策の方向性、人口の将来展望について検証し、例えば、社人研の推計では、2040年（平成52年）の総人口1,762人を138人増加の1,900人、生産年齢人口構成比50%台堅持、合計特殊出生率2.1などの目標とするなどの、具体的な村の将来人口の目標値の設定作業を行ってまいります。
- ◎次に、「普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨格素案について説明いたします。
- ・まず、国の総合戦略を勘案するとしてした中で、「①地方における安定した雇用を創出する」、「②地方への新しい人の流れをつくる」、「③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の4つの広義の柱をもとに、本研究会のグループ編成を行わせていただいております。
 - ・次に行う各班毎のワークショップにおいて各柱の普代村版の基本目標と基本的方向、そして、その目標を達成するための、具体的な施策（案）を作成していただきます。
 - ・全4回の研究会開催により、施策等の肉付けを行い、対策本部、推進会議、議会などで意見をいただきながら9月中に成案とする予定としておりますので「将来こんな普代村で生活したい、未来を担う子供たちのためにこんな普代村を築いておきたい」などを想い描きながら作業にあたっただけであれば幸いです。

グループワーク	85分	<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それではワークショップを進めてまいります。 ・はじめに、グループのリーダーとサブリーダーを事務局より紹介いたします。 （4分野のリーダー紹介） ・それでは、各グループで記録係2名、発表者1名を決めてください。 ・6人いるグループでは、記録係又は発表者を1名増やして役割分担してください。
	(10分)	<p>●ステップ1：ブレイン・ストーミング</p> <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレイン・ストーミングでは、「25年後の理想の普代村」を大きなテーマとし、「普代村に仕事をつくり、安心して働ける」、「普代村に新しい人の流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる普代村」、「時代に合った普代村をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」、以上の4つの基本目標案を、グループのディスカッションテーマといたします。 ・注意点は4つ。 ・1つ目は、自由奔放。奔放な発想を歓迎し、とっぴな意見でもかまいません。 ・2つ目は、批判厳禁。どんな意見がでてきても批判してはいけません。 ・3つ目は、質より量。量の中から質の良いものが生まれます。 ・4つ目は、便乗発展。出たアイデアを結合し、改善して、発展させてください。
		<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、ブレイン・ストーミングの練習をします。
		<p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習テーマは、お隣のグループテーマといたします。 ・各自がテーマについて思いついたことをポストイット1枚に一つずつ書き出します。 ・思いつくまま、数をたくさん出してください。 ・一人3枚程度を目標に、単語あるいは短文で簡潔に書いてください。 ・時間は5分です。それでははじめてください。
		<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間となりましたので、練習は終了いたします。 ・書き出されたポストイットは、後ろの各テーマのテーブルに貼ってください。 ・貼り終わったら、席に戻ってください。
	(15分)	<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・続いて本番を行います。練習と同様に、ポストイット1枚に一つずつ、各グループのテーマについて思いついたことを書き出します。 <p>説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の考え、他の事例でも結構です。 ・単語あるいは短い文で簡潔に、書き終わったら、模造紙に並べ、分

		<p>類してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じあるいは類似した内容のものをグループ分けして、それぞれの番号とタイトルをつけてください。 ・今までの説明で、不明の点があれば質問を伺います。 ・目標は5枚以上、時間は10分とします。 ・草野様は、各グループを回っていただき、各分野におけるヒントやアドバイスなどを出していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。 ・それでは、みなさん準備はよろしいでしょうか。 ・それでははじめてください。 <p>(10分) 指示 ・時間となりましたので、やめてください。</p> <p>説明 ・書き出したものを模造紙に並べ、各自がその思いを発表します。</p> <p>説明 ・全ての発表が終わったら、それを3つ程度、多くても5つのグループに整理し、番号とタイトルをつけます。</p> <p>・いま発表したものは、20年後の理想とする普代村であり、未来の姿であります。</p> <p>・タイトルは、「〇〇の充実や〇〇の形成、〇〇の拡大・増加、〇〇への支援」など、未来の姿を実現するための方向性を単語ではなく、短文で付けてください。</p> <p>・時間は7分です。それでははじめてください。</p> <p>●ステップ2：ディスカッション</p> <p>(20分) 指示 ・各グループのタイトルが決まりました。</p> <p>・このタイトルが、ディスカッションテーマ（基本的方向）となります。</p> <p>説明 ・これよりディスカッションを行います。各タイトル、テーマごとに、それを実現するための課題や問題点などを、書き出してもらいます。</p> <p>・1つのテーマに、3つ以上は書き出してください。</p> <p>・時間は15分です。質問があれば伺います。</p> <p>・無ければ、始めたいと思います。それでははじめてください。</p> <p>指示 ・時間となりましたので、やめてください。</p> <p>・テーマごとに、各自、発表してください。</p> <p>説明 ・人の意見をよく聞き、批判、否定はしないこと。</p> <p>・また、出た意見に便乗し、結合させ、また、改善しながら発展させてください。</p> <p>・発表は簡潔に、議論は前向き、建設的に行ってください。</p> <p>・各グループ全ての意見が発表されましたら、その意見を基に、問題</p>
--	--	---

	<p>(5分)</p> <p>(25分)</p>	<p>の解決策を探ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決策は、記録係がポストイットに書き込み、整理しながら議論を進めてください。 <p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間になりましたので、やめてください。 ・ここでトイレ休憩、気分転換の時間を取ります。 ・5分間の休憩とし、開始の時間は 時 分からとします。 <p><休憩></p> <p>●ステップ3：発表用資料の作成</p> <p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次に、発表用資料の作成作業を行います。 ・ブレイン・ストーミングで出されたグループのテーマが3つであれば3枚、5つあれば5枚作成してください。 ・2行目にはテーマを記入し、3行目にはブレイン・ストーミングで出されたテーマごとのアイデアを全て記入します。 ・4行目の左側には25年後の理想とする普代村、将来の姿を実現するための問題点、課題を記入し、中央の欄にその対応・解決策を記入し、右側に解決策を講じたことによって、だれが、どうなるか、対象と目的を記入します。 ・なお、各グループ分けとなった基本目標は、国が示したものでありますので、これまでの話し合い等を踏まえ、普代村の実情に応じた基本目標案を1行目に記入し、発表用資料とします。 ・説明は以上となりますが、ご質問があれば伺います。 ・無ければ、発表用資料の作成を始めてください。 ・時間は20分とします。
発表・講評	25分	<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループから発表していただきます。 ・発表用資料の項目に沿って、具体的かつ簡潔に発表してください。 ・発表時間は1グループ、3分程度とし、発表が終わりましたら、草野様より講評、アドバイスを賜りたいと存じますので、よろしくお願いいたします。 ・草野様の講評、アドバイスの内容については、事務局でも記録いたしますが、グループにおいても、記録係が記録するよう、お願いいたします。 ・それでは、名簿にあります〇〇分野のグループから順に発表をお願いします。 <p><グループ発表></p>
まとめ		<p>指示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日目標としておりました基本目標及び基本的方向案が決まりました。

		<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none">・作成いただきました資料につきましては、事務局で取りまとめの上、総合戦略骨格案とし、6月15日開催予定の、対策本部に提案させていただきます。・長時間にわたり、草野様、職員の皆さん、大変お疲れ様でした。・午後 時 分から、ながさわにて懇親会を行いますので、引き続きのご参加をお願いいたします。・本日は大変ありがとうございました。
おわり		

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料

ワークシート1 (ブ레인・ストーミング⇒ディスカッション)

分野：

基本的方向 課題・問題点					

普代村地域創生研究会 第1回ワーキンググループ資料

ワークシート2 (発表用資料の作成)

基本目標案

基本的方向

25年後の理想の普代村

問題点・課題	対応・解決策	対象	目的